



株式会社日本ピグメントホールディングス

証券コード：4119

Interim Business Report

第89期 中間報告書 2024.4.1 ▶ 2024.9.30





代表取締役社長 田代 喜一

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループの第89期上半期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の「ビジネスレポート」をお届けいたします。

第89期上半期においては、株式会社PLASiST(旧住化カラー株式会社、以下「PLASiST」)の株式を取得したことにより連結対象会社が増加いたしました。業績については、販売構成の変化や為替の影響等により利益を確保したものの、中国現地法人の清算コストの増加等が利益減少要因となりました。一方、PLASiSTの株式取得に伴う負ののれん発生益等により親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ大きく増加いたしました。

なお、当社グループは2024年10月1日付で持株会社体制に移行し、商号を「株式会社日本ピグメントホールディングス」に変更いたしました。グループ事業会社の「日本ピグメント株式会社」と「株式会社PLASiST」両社のシナジーを最大化し、持続可能な社会に向けて、次の100年を見据えた更なる企業価値の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

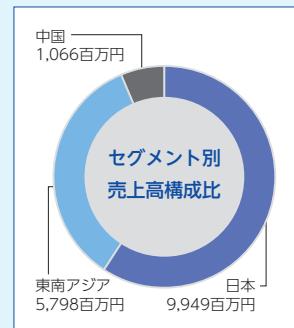
2024年12月

■ 連結業績ハイライト

売上高 (百万円)



営業利益又は営業損失 (△) (百万円)



第89期上半期の業績

【日本】

国内部門別の概況として、前年同期比較としましては、樹脂コンパウンド部門では、主要の自動車用途において認証不正問題に伴う生産停止から一部製品で取り扱い数量減少の影響を受けましたが、連結対象会社の増加により合計数量では増加、また製造経費削減の効果もあり部門営業利益は昨年を上回りました。

樹脂用着色剤部門は、化粧品・トイレットリー向けで回復を見せ、一部の飲料用途が堅調なこともあり部門営業利益は昨年を上回りました。加工カラー部門は、主要取引先の建材関係が堅調に推移し、液体分散体では低調であった中小型ディスプレイ用途が徐々に回復傾向にあり、部門営業利益は昨年を上回りました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は99億4千9百万円（前年同期比42.7%増）となりましたが、未だ取り扱い数量が回復途上であることや経営統合のための一時的な費用の計上もあり営業損失は1億円（前年同期営業損失1億2千1百万円）となりました。

【東南アジア】

東南アジアは、中国向けをはじめとした各最終製品の需要低迷の影響を全般的に受けたことから当中間連結会計期間の売上高は57億9千8百万円（前年同期比9.5%減）となりました。一方で、販売構成の変化や為替等の影響並びに経費削減により営業利益は2億1千3百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

【中国】

中国は、株式取得による連結対象会社の増加により当中間連結会計期間の売上高は10億6千6百万円（前年同期比377.5%増）となりましたが、日系自動車販売の低調継続や中国国内の価格競争の激化により取り扱い数量が低迷し、営業損失は6千9百万円（前年同期営業損失4千3百万円）となりました。

【全体】

株式取得による連結対象会社の増加により、当中間連結会計期間の売上高は168億1千4百万円（前年同期比23.6%増）、経常利益

は1億7千3百万円（前年同期比49.4%増）となりました。また株式取得に伴う負ののれん発生益68億2千2百万円の特別利益の計上や、海外連結子会社である天津碧美特工程塑料有限公司の関係会社整理損2億8千5百万円の特別損失の計上などにより、親会社株主に帰属する中間純利益は66億4千7百万円（前年同期親会社株主に帰属する中間純利益1千6百万円）となりました。

今後の見通し

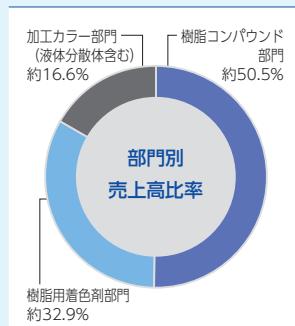
下半期の見通しとして、国内では自動車向け需要は徐々に回復傾向にあるものの、米国および中国経済、為替変動等が業績に影響を与える可能性があり、市場の動向に留意が必要と考えております。このような中、国内市場での急激な需要の拡大は見込めないものの、引き続き生産の合理化や高付加価値品販売へのシフトにより収益確保を推進してまいります。

東南アジアについては、中国経済の不透明感や環境意識の高まりによる使い捨てプラスチック制限の可能性など不安は残るものの、高付加価値品である樹脂用着色剤の増産、拡販を進め収益確保に注力してまいります。

中国については、日系企業向け販売は厳しい状況が続くとみられ、引き続き生産の合理化を進めるとともに中国企業向け製品の販売強化を進めてまいります。

通期の連結業績予想（2024年8月9日公表）

売上高	42,000百万円
営業利益	450百万円
経常利益	600百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	7,000百万円
期末配当金（予想）	100円



経常利益又は経常損失（△）（百万円）



親会社株主に帰属する中間純利益又は

親会社株主に帰属する中間純損失（△）（百万円）



連結財務データ

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	当中間期末	前期末
	2024年9月30日現在	2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	25,557,707	15,996,465
固定資産	20,526,306	13,629,991
有形固定資産	9,526,746	7,042,302
無形固定資産	483,876	116,017
投資その他の資産	10,515,683	6,471,671
資産合計	46,084,014	29,626,457
負債の部		
流動負債	16,194,105	10,137,874
固定負債	6,493,651	3,790,333
負債合計	22,687,757	13,928,208
純資産の部		
株主資本	19,237,007	12,746,336
その他の包括利益累計額	2,277,499	1,752,114
非支配株主持分	1,881,750	1,199,797
純資産合計	23,396,257	15,698,248
負債純資産合計	46,084,014	29,626,457

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	2024年4月1日から 2024年9月30日まで	2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,179	938,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	455,781	△172,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	284,550	△60,916
現金及び現金同等物に係る換算差額	205,283	69,959
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,140,796	774,569
現金及び現金同等物の期首残高	3,220,917	2,344,595
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,361,713	3,119,164

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	2024年4月1日から 2024年9月30日まで	2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	16,814,303	13,604,370
売上原価	14,467,730	11,959,488
売上総利益	2,346,572	1,644,882
販売費及び一般管理費	2,303,265	1,655,340
営業利益又は営業損失 (△)	43,306	△10,458
営業外収益	193,907	172,169
営業外費用	63,854	45,647
経常利益	173,359	116,063
特別利益	6,824,830	668
特別損失	320,549	964
税金等調整前中間純利益	6,677,640	115,767
法人税、住民税及び事業税	52,825	45,907
法人税等調整額	△65,008	13,089
法人税等合計	△12,183	58,996
中間純利益	6,689,824	56,771
非支配株主に帰属する中間純利益	42,110	40,771
親会社株主に帰属する中間純利益	6,647,714	16,000

▶ ポイント

連結貸借対照表について

総資産は、株式取得による連結対象会社の増加により460億8千4百万円となり、前期末に比べ164億5千7百万円の増加となりました。この主な要因は、流動資産が95億6千1百万円、固定資産が68億9千6百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は226億8千7百万円と前期末に比べ87億5千9百万円の増加となりました。この主な要因は、流動負債において支払手形及び買掛金が36億1千万円増加したこと、及び固定負債において繰延税金負債が8億9千6百万円、退職給付に係る負債が12億5千9百万円増加したことによるものです。

また純資産は233億9千6百万円と前期末に比べ76億9千8百万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が64億9千万円増加したことなどによるものです。

特集 持株会社体制への移行～次の100年を創造する挑戦へ

2024年10月1日、日本ピグメントグループは、事業の更なる発展を目的として、持株会社体制に移行いたしました。

グループ事業会社の「日本ピグメント株式会社」は、1925年創業の「三輪商店」が前身であり、「株式会社PLASiST」（旧住化カラー株式会社）は、1923年創業の「久住顔料」が前身となります。

両社とも約100年の歴史を持ち、「色」の専門メーカーとして、顔料、樹脂用着色材、機能性マスターバッチの製造販売などへ事業展開を行いながら長年にわたり技術を培ってまいりました。

両社のシナジーを最大化し、持続可能な社会に向け次の100年を見据えた更なる価値の創造に挑戦します。

● PLASiSTとの統合および持株会社体制移行の背景

Change&Evolution
"2025"

対処すべき課題

高度で急速な変革が求められる時代へ



- ・労働人口の減少
- ・賃上げ圧力の強まり
- ・働き方の時代変化



- ・エネルギーコスト高騰



- ・輸入原料の高騰
- ・想定為替との乖離
- ・地政学リスクの高まり



- ・持続可能な社会実現
に対する責務



- ・市況の変化

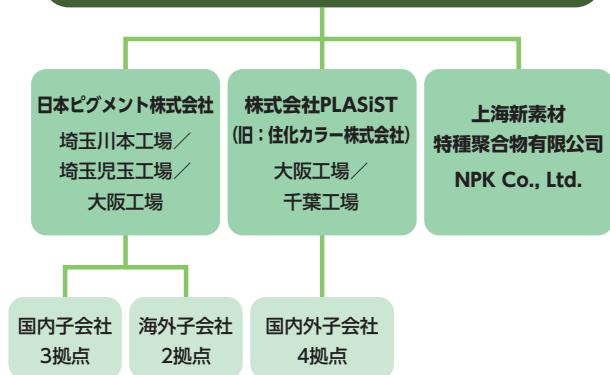
次の100年に向けた持続的な成長へ

AI、DX/GXの促進

SDGsの取り組み強化

● 持株会社体制

株式会社日本ピグメントホールディングス



● 持株会社の目指す形

相乗効果と効率化を生み出す

人財
人材交流による
成長促進

生産性
AI、DX/GXの導入

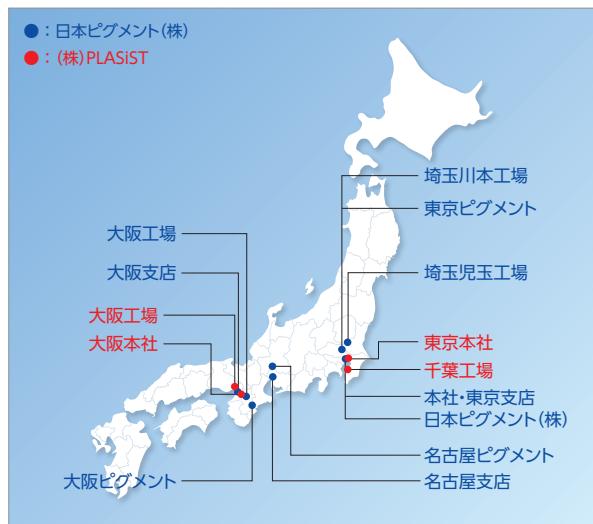
4つの
化学反応

技術力
開発スピードの
アップ

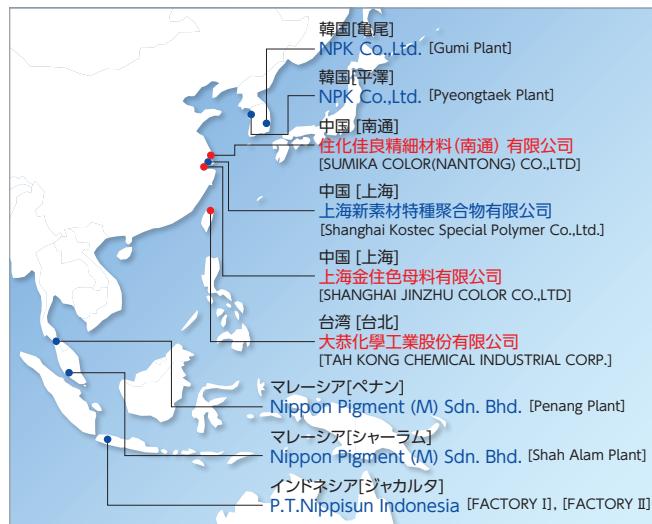
商品開発
多様な需要への
対応

事業

■ 国内生産拠点



■ 海外生産拠点



■ 主なグループ会社



日本ピグメント 株式会社

日本ピグメント株式会社は、コアテクノロジーである配合・分散・生産技術が強みに、樹脂コンパウンド、樹脂用着色剤、液体分散体を製造販売している企業です。



株式会社PLASiST

株式会社PLASiSTは、プラスチックをはじめ身の回りにある様々なものへの着色や機能の付与を提案するケミカル・ソリューションカンパニーです。

会社の概要

概要

会社名	株式会社日本ピグメントホールディングス (Nippon Pigment Holdings Company Limited)
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
代表者	代表取締役社長 田代 喜一
創業	1925年（大正14年）
事業内容	当社グループは各種樹脂コンパウンド、各種樹脂用着色剤、インキ塗料用着色剤、電子材料用着色剤液体分散体などの製造、販売を行っております。
資本金	14億8,115万円
株式	東京証券取引所スタンダード市場
主要な事業目的	次の各号に掲げる事業を営む会社等の株式等を所有することにより、当該会社等の事業活動を支配または管理することを目的とする。 1. 各種樹脂、ゴム、繊維等の着色剤の製造および販売 2. 各種樹脂の加工および販売（樹脂コンパウンド） 3. 各種着色剤の製造および販売 4. 各種インキ、塗料とそれら関連材料の製造および販売

役員（2024年10月1日現在）

(1) 取締役（監査等委員である取締役を除く）

代表取締役会長	加藤 龍巳
代表取締役社長	田代 喜一
取締役副社長	児島 俊郎
取締役	三輪 幸一

(2) 監査等委員である取締役

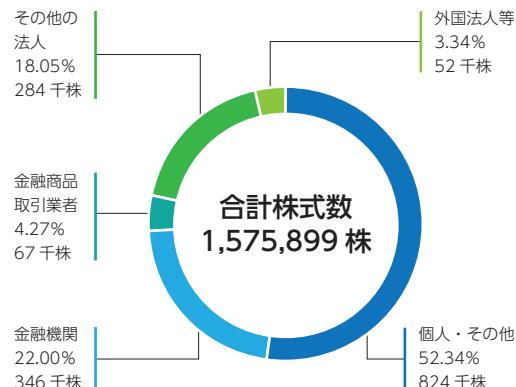
取締役 監査等委員である取締役（常勤）	今井 信一
取締役 監査等委員である取締役（常勤・社外）	広納 幸正
取締役 監査等委員である取締役（社外）	村松 伸一
取締役 監査等委員である取締役（社外）	鈴木 洋子
取締役 監査等委員である取締役（社外）	宮崎 達彦

株式の状況

(1) 発行可能株式総数	3,000,000株
(2) 発行済株式総数	1,575,899株 (うち自己株式 6,299株)
(3) 株主数	1,486名
(4) 大株主（上位10名）	

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本ピグメント取引先持株会	191	12.21
株式会社みずほ銀行	70	4.46
株式会社十六銀行	69	4.45
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	61	3.92
三井住友信託銀行株式会社	43	2.79
日本化薬株式会社	43	2.78
東京海上日動火災保険株式会社	43	2.78
長瀬産業株式会社	32	2.08
田中 洋二	30	1.91
宗教法人安養寺	28	1.78

所有者別株式分布状況



(注) 自己株式 6,299 株は、「個人・その他」に含めております。

株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場
- 証券コード 4119
- 単元株式数 100株
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日

- 株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

- 単元未満株式買取手数料
および買増手数料 無料
- 公告掲載方法 電子公告といたします。
当社ホームページアドレス
<https://www.pigment-hd.co.jp>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

株式に関するお手続きについて

証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	<ul style="list-style-type: none">● 住所・氏名等のご変更● 単元未満株式の買取・買増請求● 配当金の受領方法の指定 等

※未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
-----------------	---

※特別口座では、株式の売却はできません。
売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

HPのご案内

詳しいIR情報は当社ホームページにて掲載しています。

<https://www.pigment-hd.co.jp>

株式会社日本ピグメントホールディングス 🔍 検索

HPへの
QRコード



株式会社日本ピグメントホールディングス

